

日本の
ひなた
宮崎県

二級水系

宮崎土木事務所管内の流域治水

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

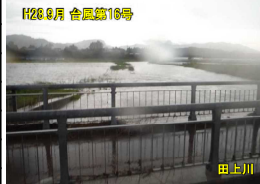
○これまで管内の流域では、平成13年の台風21号などにより甚大な被害が発生しており、さらに今後の気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、国・県・市町村・企業など流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させるためのハード対策やソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト」に基づき、流域治水を推進していく。

○清武川水系など8水系において、流域治水を推進していくことで、災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる災害に強い地域づくりの実現に取り組んでいく。

主要な出水被害

平成13年10月	台風第21号
平成16年6月・8月	台風第4号・台風第16号
平成17年9月	台風第14号
平成28年9月	台風第16号
平成29年9月・10月	台風第18号・台風第22号
平成30年9月	台風第24号
令和3年9月	豪雨

R26.8月 合流路16号



田上川

R3.9月 豪雨



深田川

R3.9月 豪雨

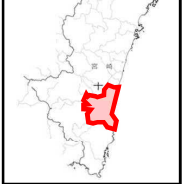


2021.9.11 野島川

対象水系

- 1) 石崎川水系
- 2) 清武川水系
- 3) 加江田川水系
- 4) 知福川水系
- 5) 突浪川水系
- 6) 内海川水系
- 7) 野島川水系
- 8) 小内海川水系

位置図



流域の関係者

- 宮崎市（土木課、都市計画課、危機管理課、森林水産課、農村整備課、下水道整備課、清武総合支所 農林建設課、佐土原総合支所 農林建設課、田野総合支所 農林建設課）
- 森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所
- 宮崎県（宮崎土木事務所、中部農林振興局、河川課、都市計画課、砂防課、危機管理課、建築住宅課、自然環境課、森林経営課、農村計画課、農村整備課）

流域治水プロジェクトの内容

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水氾濫対策
- 土砂災害対策
- 森林の整備・保全、治山施設の整備
- 流域の雨水貯留機能の向上
- 高潮、地震・津波対策

2. 被害対象を減少させるための対策

- リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫
- まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- リスク情報の提供・提供
- 防災・避難体制の強化
- 防災学習・啓発の推進
- 早期復旧・復興への備え

1

宮崎土木事務所管内

流域治水とグリーンインフラの連携

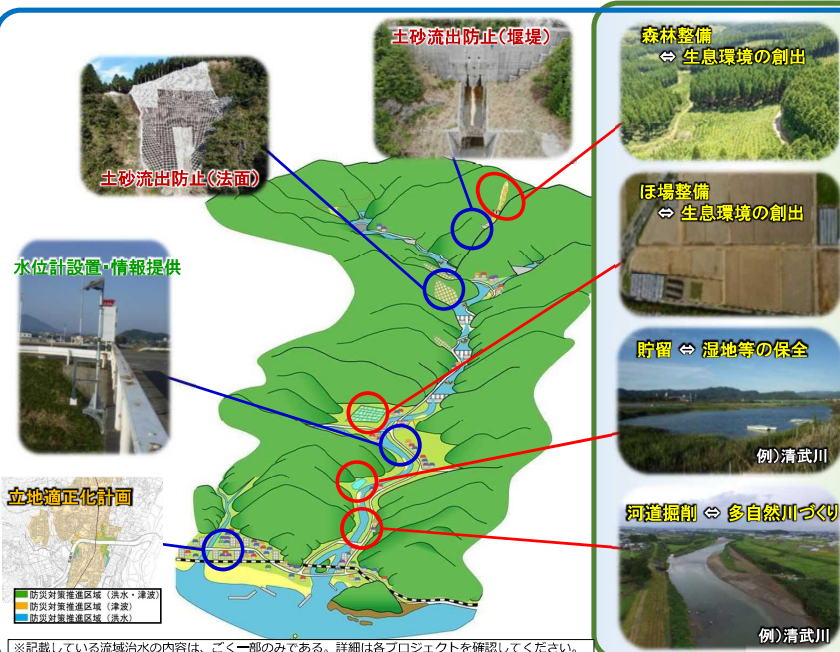
○自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進めるグリーンインフラを取り入れた流域治水に取り組んでいく。

○流域の風土・歴史・文化を踏まえ、河川の有する多様な機能を十分に発揮し、災害発生の防止、河川の利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備・保全により、グリーンインフラの取組を推進する。

流域治水の取組



グリーンインフラの取組



① 治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出（瀬、淵、河畔、ワンド等の保全）
- ・河川景観の保全・創出

② 自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・湿地等の貴重な自然環境の保全
- ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出

③ 魅力ある水辺空間・賑わい空間創出

- ・川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持

④ 自然環境が有する多様な機能活用取組

- ・水辺空間のレジャー等の利用
- ・小中学生や任意団体等による環境学習

水辺空間の利用



自然環境の保全



※記載している流域治水の内容は、ごく一部のみである。詳細は各プロジェクトを確認してください。

2

石崎川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、石崎川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。



石崎川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

● 石崎川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する【短期】

・石崎川本川における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所の河道掘削を実施することで、水位低下を図る。
支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

【短期～中長期】

- ・石崎川本川上流部及び支川の御手洗川・野田川においては、河道が狭く、流下能力不足により浸水被害が発生する恐れがあることから、河川改修を継続的に実施することで、早期に地域の安全性の向上を図る。
- ・石崎川流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防ダムの整備を実施する。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- ・今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- ・洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

■ 河川対策 (約 10 億円)
■ 砂防対策 (約 4 億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	治水対策対策	宮崎市、宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	上流対策対策	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	治水対策対策	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	治水対策対策	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導・住まい方の工夫	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	まちづくりでの活用を視野にした土砂の水災害情報の充実	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	まちづくりでの活用を視野にした土砂の水災害情報の充実	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	まちづくりでの活用を視野にした土砂の水災害情報の充実	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	防災・避難体制の強化	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	防災学習・啓発の推進	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	早期復旧・復興への備え	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
グリーンインフラの取組	治水対策対策	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	治水対策対策	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	治水対策対策	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等
	治水対策対策	宮崎市	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等	河川改修、河道掘削等

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

石崎川水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和5年度 ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数/対象項目数】：9/9 ■取組率：100%

宮崎市 建設部土木課	【大項目】区分 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容 洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー 河川改修

【概要】

○準用河川野田川は、河川断面が小さく流下能力が低い河川であり、大雨時に、周辺家屋や農地への被害が生じないように、護岸整備を実施した。
○次年度以降も、緊急自然災害防止対策において引き続き実施していく。

準用河川野田川



実施前

実施後

2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数/対象項目数】：2/2 ■取組率：100%

- ・土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、2巡目の基礎調査を実施中
- ・指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP：www.sabomap/miyazaki

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数/対象項目数】：24/24 ■取組率：100%

- ・宮崎県防災情報共有システムにより防災情報の共有



4. グリーンインフラ

■【実施数/対象項目数】：7/11 ■取組率：64%

宮崎県 宮崎土木事務所	【大項目】区分 4. グリーンインフラ
	【中項目】対策内容 自然環境の保全・復元などの自然再生
	【小項目】対策メニュー 特定外来生物（オオフサモ）の除去

○特定の河川において、特定外来生物に指定されているオオフサモの繁殖が確認されているため、治水上・生態系の悪影響を回避するために、定期的に除去する。



御手洗川の例

清武川水系流域治水プロジェクト【位置図】 ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、清武川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



頭首工の改修



実施後



水源林の整備



実施後



河道掘削



実施後



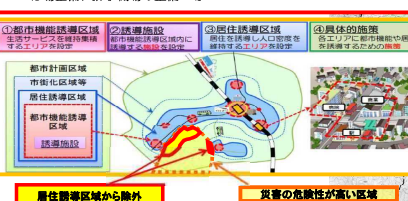
グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】

- ・河道掘削、樹木伐採 等
- ・排水機場の整備 等
- ・高潮、地震・津波対策 等
- ・堤防の地震対策 等
- ・森林の整備・保全、治山施設の整備
- ・下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等
- ・流域の雨水貯留機能の向上
- ・ため池の改修、土砂浚渫 等
- ・ほ場整備、排水機場の整備 等



■被害対象を減少させるための対策

【リスクの低いエリアへ誘導・住まい方の工夫】

- ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定
- 【まちづくりでの活用を視野にした土地の防災情報提供の充実】
- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JH151】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【リスク情報の提供・充実】

- ・洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等
- ・洪水ハザードマップの作成 等
- ・マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等
- ・ため池ハザードマップの周知 等
- ・水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等

【防災・避難体制の強化】

- ・防災士養成研修の実施 等
- ・ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援 等
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援 等
- ・防災情報の共有

【防災学習・啓蒙の推進】

- ・出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間） 等
- ・小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成 等
- 【早期復旧・復興への備え】
- ・樋門・樋管等の確実かつ効率的な運用を行うための検証 等
- ・新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し 等
- ・公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討 等



防災士による出前講座

清武川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 清武川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・流域内の人口が集中している清武川本川（宮崎市～清武町）区間における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所への河道掘削を実施することで、水位低下を図る。支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

【短期～中長期】

- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- ・今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- ・洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

■河川対策（約 17 億円）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			前期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	川水石堀対策	宮崎県	河川掘削による水位低下を図る事業等		
	河床・河堤・津波対策	宮崎県	堤防の延長対策等		
	森林の整備・保全 西山道路の整備	宮崎県、宮崎市、森林整備センター	宮崎県・西宮市、大島郡、志布志市、山崎町等		
	流域の治水防衛機能の向上	宮崎県	ため池の改修、土砂流出等		
被害対象を減少させるための対策	リスクの高いエリアへ誘導/住みやすい工夫	宮崎県	沿岸部、沿岸部の改修、治水防衛の強化等		
	まちづくりでの治水を視野にした土砂の水災害防衛の充実	宮崎県	土砂災害・河川災害等の被害防止による土砂災害防止の強化等		
	リスク情報の提供・充実	宮崎県、宮崎市	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		
	防災・避難計画の策定・実施	宮崎県、宮崎市	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災・避難計画の策定・実施	宮崎県、宮崎市	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		
	防災・避難計画の策定・実施	宮崎県、宮崎市	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		
	防災・避難計画の策定・実施	宮崎県、宮崎市	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		
	防災・避難計画の策定・実施	宮崎県、宮崎市	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		
グリーンインフラの推進	治水対策における多自然川づくり	宮崎県	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		
	自然環境の保全・増進などの自然再生	宮崎県、宮崎市、森林整備センター	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		
	治水対策の推進・実施	宮崎県、宮崎市	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		
	治水対策の推進・実施	宮崎県、宮崎市	治水防衛対策の推進、治水防衛の強化等		

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

7

清武川水系流域治水プロジェクト【取組状況】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

令和5年度

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数/対象項目数】：6/7 ■取組率：86%

【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
【中項目】対策内容	流域の治水防衛機能の向上
【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します

水源林の整備



令和5年度実績				
植栽	下刈	除伐	間伐	作業道
	22ha			

2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数/対象項目数】：2/2 ■取組率：100%

- ・土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、2 巡目の基礎調査を実施中
- ・指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP: www.sabomap/miyazaki

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数/対象項目数】：24/24 ■取組率：100%

- ・宮崎県防災情報共有システムにより防災情報の共有



4. グリーンインフラ

■【実施数/対象項目数】：7/13 ■取組率：54%

【大項目】区分	4. グリーンインフラ
【中項目】対策内容	治水対策における多自然川づくり
【小項目】対策メニュー	生物の多様な生態、生育、繁殖環境の保全・創出

河道掘削工事の実施に際しては、瀬や淵、ワンドの保全、流速の多様性、河床材料の多様性等、治水のみではなく、河川に生息する生物に配慮した施工を行う。



8

加江田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

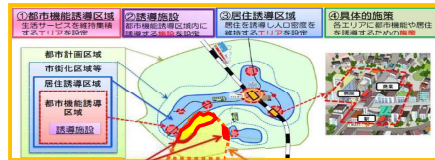
○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、加江田川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 【洪水氾濫対策】
 - ・河道掘削、樹木伐採 等
- 【高潮、地震・津波対策】
 - ・堤防の地震対策 等
- 【土砂災害対策】
 - ・砂防ダムの整備 等
- 【森林の整備・保全、治山施設の整備】
 - ・下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】
 - ・ため池の改修、土砂浚渫 等
 - ・ほ場整備、排水機場の整備 等



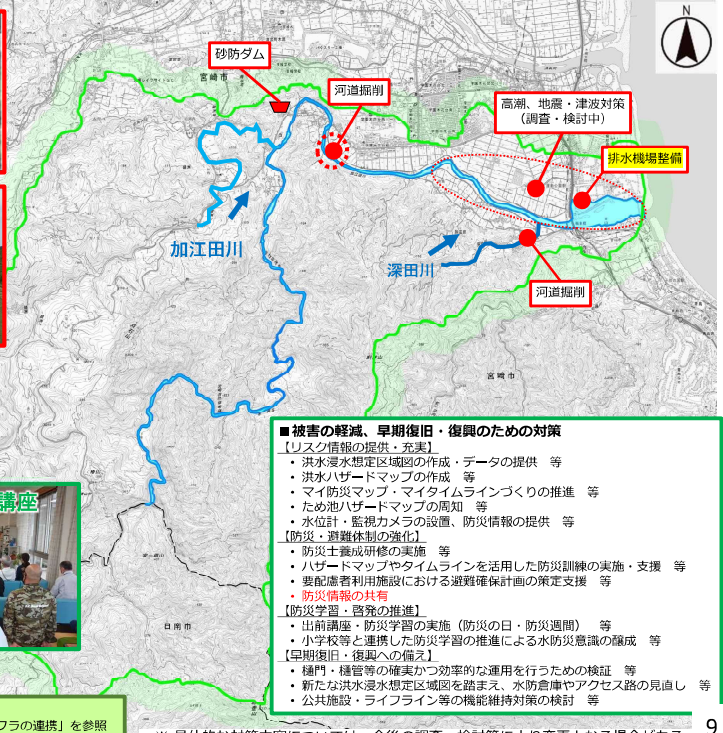
■被害対象を減少させるための対策

- 【リスクの低いエリアへ誘導・住まいの工夫】
 - ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定
- 【まちづくりでの活用を視野にした土地の防災性能の充実】
 - ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化



■グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 【リスク情報の提供・充実】
 - ・洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等
 - ・洪水ハザードマップの作成 等
 - ・マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等
 - ・ため池ハザードマップの周知 等
 - ・水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等
- 【防災・避難体制の強化】
 - ・防災士養成研修の実施 等
 - ・ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援 等
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援 等
- 【防災情報の共有】
 - ・防災学習・啓発の推進
 - ・出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間） 等
 - ・小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成 等
- 【早期復旧・復興への備え】
 - ・種門・種宮等の確実かつ効率的な運用を行うための検証 等
 - ・新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し 等
 - ・公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討 等

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf151】

加江田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

● 加江田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・加江田川本川における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所の河道掘削を実施することで、水位低下を図る。支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

■河川対策 (約 18億円)
■砂防対策 (約 2億円)

【短期～中長期】

- ・加江田川流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防ダムの整備を実施する。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- ・今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- ・洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎市	河道掘削・土砂堆積等	河道の地形改善 等	
	高潮、地震・津波対策	宮崎市	砂防ダムの整備 等	砂防ダムの整備 等	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策	宮崎市	土砂災害対策	土砂災害対策	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	宮崎市、宮崎市	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林の整備・保全、治山施設の整備	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害の軽減	宮崎市	被害の軽減	被害の軽減	
	早期復旧・復興のための対策	宮崎市	早期復旧・復興のための対策	早期復旧・復興のための対策	
グリーンインフラの取組	グリーンインフラの取組	宮崎市	グリーンインフラの取組	グリーンインフラの取組	
	グリーンインフラの取組	宮崎市	グリーンインフラの取組	グリーンインフラの取組	

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。 10

加江田川水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和5年度 ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数/対象項目数】：7/7 ■取組率：100%

宮崎県中部農林振興局	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	排水機場整備、ほ場整備、農業用ため池整備

R5年度実績	
排水機場	1箇所
事業費	77百万円

排水機場整備 正蓮寺地区

実施前



実施後



3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数/対象項目数】：24/24 ■取組率：100%

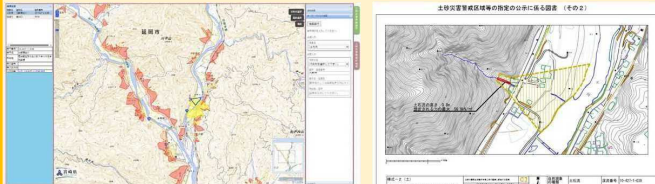
- 宮崎県防災情報共有システムにより防災情報の共有



2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数/対象項目数】：2/2 ■取組率：100%

- 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、2巡目の基礎調査を実施中
- 指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP: www.sabomap/miyazaki

4. グリーンインフラ

■【実施数/対象項目数】：7/11 ■取組率：64%

宮崎県	【大項目】区分	4. グリーンインフラ
宮崎土木事務所	【中項目】対策内容	治水対策における多自然川づくり
	【小項目】対策メニュー	河川景観の保全・創出

河道掘削工事の実施に際しては、瀬や淵、ワンドの保全、流速の多様性、河床材料の多様性等、治水のみではなく、河川に生息する生物に配慮した施工を行うことで、良質な河川景観の保全及び創出を目指す。



宮崎地区その他水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、知福川水系など5水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 【洪水氾濫対策】
- 河道掘削、樹木伐採 等
 - 護岸整備 等
- 【森林の整備・保全、治山施設の整備】
- 下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等

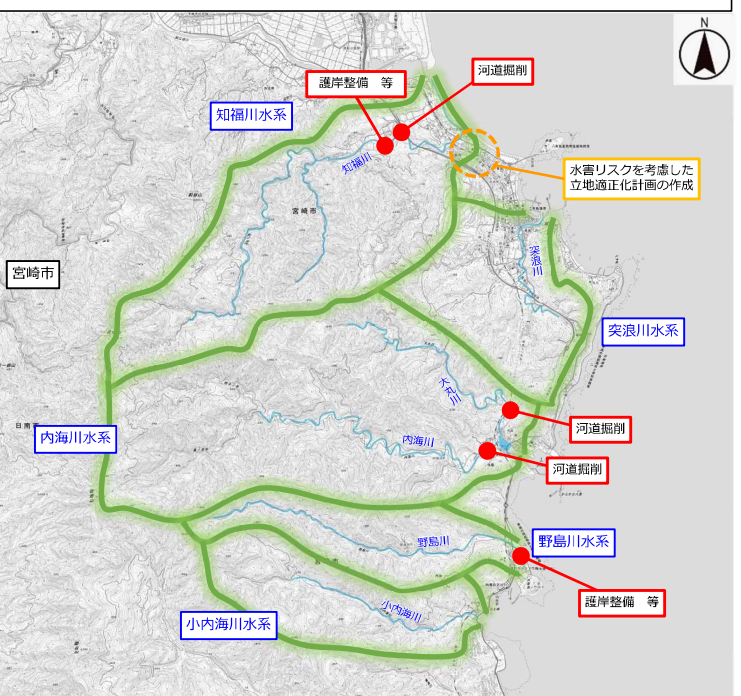
- 被害対象を減少させるための対策
- 【リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫】
- 災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定
 - 【まちづくりでの活用を視野にした土地の災害情報情報の充実】
 - 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

- 【対象水系】
- ①知福川水系
 - ②突浪川水系
 - ③内海川水系
 - ④野島川水系
 - ⑤小内海川水系

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 【リスク情報の提供・充実】
- 洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等
 - 洪水ハザードマップの作成 等
 - マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等
 - 水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等
- 【防災・避難体制の強化】
- 防災士養成研修の実施 等
 - ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援 等
 - 要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援 等
 - 防災情報の共有
- 【防災学習・啓蒙の推進】
- 出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間） 等
 - 小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成 等
- 【早期復旧・復興への備え】
- 橋門・樋管等の確実かつ効率的な運用を行うための検証 等
 - 新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し 等
 - 公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討 等

グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照



※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf524】

宮崎地区その他水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】 ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

● 知福川など5河川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

- 知福川などにおける浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所の河道掘削を実施することで、水位低下を図る。
- 支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。
- 知福川など、浸水被害が発生した河川において、再度被災防止のための浸水対策を検討し、必要に応じて護岸嵩上げ等の対策を実施する。

【短期～中長期】

- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- 今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- 洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

■ 河川対策 (約 2億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削・埋込伐、護岸整備等		
	森林の整備・保全、治山施設等の整備	宮崎県、宮崎市、森林整備センター	下流の浸水・高水位、水源地の整備、治山ダム、山腹工等		
被害対象を減少させるための対策	リスクの高いエリアへ誘導／住まいの工夫	宮崎市	災害リスクを軽減した立地環境を創出の推進		
	まちづくりでの活用を促進した土砂の保全・活用等の推進	宮崎県	土砂の保全・活用等の推進		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	宮崎県	洪水浸水想定区域図の作成・更新の推進		
		宮崎市	洪水ハザードマップの作成等		
		宮崎県、宮崎市	防災マップ・防災インフォメーションの整備等		
		宮崎県	水防計画・緊急時の対応、防災情報の提供等		
		宮崎県、宮崎市	防災士養成研修の推進等		
		宮崎県、宮崎市	ハザードマップタイムラインを活用した防災訓練の実施等		
		宮崎市	新たな防災・減災対策の推進による防災情報の提供等		
		宮崎市	既存の防災・減災対策の推進による防災情報の提供等		
		宮崎市	新たな防災・減災対策の推進による防災情報の提供等		
		宮崎市	新たな防災・減災対策の推進による防災情報の提供等		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県	生物の多様な生態系、生物・景観環境の保全・創出（瀬、淵、洲、砂洲、干潟等の保全）		
			河川環境の保全・創出		
	自然環境の保全・創出などの自然再生	宮崎県、宮崎市、森林整備センター	生物の多様な生態系、生物・景観環境の保全・創出		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持		
	自然環境が育つ多様な機能活用等の取組	宮崎県、宮崎市	水辺空間のレジャー等の利用		

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

宮崎地区その他水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和5年度 ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：4/4 ■取組率：100%

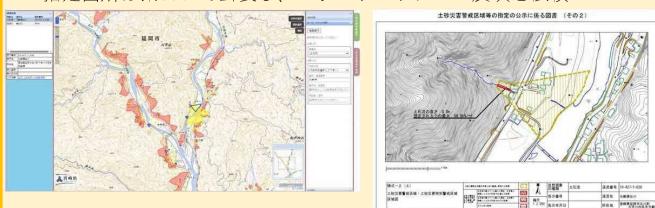
宮崎県 宮崎土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	樹木伐採・河道掘削



2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：2/2 ■取組率：100%

- 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、2巡目の基礎調査を実施中
- 指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP: www.sabomap/miyazaki

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：22/22 ■取組率：100%

- 宮崎県防災情報共有システムにより防災情報の共有



4. グリーンインフラ

■【実施数／対象項目数】：7/13 ■取組率：54%

宮崎県 宮崎土木事務所	【大項目】区分	4. グリーンインフラ
	【中項目】対策内容	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出
	【小項目】対策メニュー	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持

○本計画対象河川は自然豊かな河川が多く、河川プールやボートなどのレジャーに利用されている。親しみやすい空間を維持するために、河道掘削や草刈り等を継続的に実施する。

